

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年4月1日

事業所名: KID ACADEMY TECHNOLOGY 細島校

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	0	1	・トイレ等主要設備への導線を確保し、机の配置等をしている。	・大きい子たちがばかりだと窮屈にも感じるが各児童の個人スペースは確保されていると思う。
	②	職員の配置数は適切であるか	1	2	1	・加配加算に加え、専門的支援加算が取れる状況の職員人数になると、現場的にもう少し余裕を持って支援が行えると思う。 ・兼務で足りないため人員を補っている	・たくさんの職員が増えてきてほしい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	0	・入口に段差があったり、トイレが少し狭かったりするが、手すりは取り付けられている。 ・トイレなどに、などにもバリアフリー化がされている。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	0	0	・日々申し送りや話し合いをし、月に一度は事業所会議を実施している。 ・定期的に会議が開かれ振り返りを行っている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1	0		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1	0		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	0		・回答結果を元に業務改善を行いつつある。
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	・月に1度、研修を実施するように計画し実行している。 ・定期的に研修は行われている。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1	0	・ご家庭の事情に合わせて行っている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0	4	0	・HUGを使っている。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	・各プログラム担当を決めて、その人主体で周りがサポートに入っている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1	0		・これから、運動などのリフレッシュできるプログラムも作ってきたい。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2	0	・長期休みの形態、通常形態などで主に課題を決めている。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	0	1	・集団だけが主だったが徐々に個別なども組み合わせを行っている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	3	0		・まだ足りない
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1	0	・当日に出来なかった場合は、翌日朝に行うようにしている。 ・徐々に行っている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	1	3	0	・記録は行っている	
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	・児童の環境の変化に合わせて変更している。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	1	0		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	0		
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	1	0	・以前よりは連携を取るようになってきている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	3	1		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	3	1	・必要に応じ、個々に対応している。	・利用児の多くが、小学校高学年以上になるので、あまり就学前の関係機関との交流はない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	4	0	・求められればしている。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3	0	・研修に参加している職員もいる。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	2	・交流できる環境は整っている。	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	1		
保護者への説	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1	0		
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	1		
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0		
	㉛	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	1	3	0		
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	2	2		・コロナ過だったこともあり出来ていない。今年度は夏祭り開催を保護者及び地域住民参加可能型として実施した。
㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	・苦情などは迅速に対応し、記録としても残している。		

明責任等	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	・保護者向けの通信を出している。	
	㉕	個人情報に十分注意しているか	4	0	0	・子供の目の届かないところに保管している。	
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	0		
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1	0	・夏祭りなどのイベントで近隣の方を呼んだりした。	
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1	0		
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0		
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0		
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	0	0		
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	0	・食べ物を扱う際、ご家庭に確認を取ったりしている。	
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	3	0	・事例集はないが、小さなことでもヒヤリハットの報告書を作成し残し、かつ報告書をもとに対策等話し合っている。	